

2003年9月16日(火)～10月2日(木)

12:00～7:00P.M. 日曜・祝日休館 入場無料

公開審査会

9月25日(木) 5:30～8:00P.M.

オープニングパーティー

9月25日(木) 8:00～9:00P.M.

※9月25日(木)は公開審査会のため、5時以降はご観覧いただけません。あらかじめご了承ください。

審査員<敬称略・予定>

青木克憲 (アートディレクター)

佐藤晃一 (グラフィックデザイナー)

谷口広樹 (イラストレーター・グラフィックデザイナー)

渡邊良重 (アートディレクター・グラフィックデザイナー)

大迫修三 (クリエイションギャラリーG8)

公開の場でグランプリが決まる  
二次審査会を見にきませんか  
9月25日(木) 5:30～8:00P.M. \*要予約



『ひとつぼ展』会期中に行われる公開二次審査会は、どなたでもご覧いただけます。

出品者10人が個展開催の権利を明け、作品の説明や個展プランを熱い想いでプレゼンテーションします。その後、審査員による審議の結果、出品者や一般見学者の目の前でグランプリ1名が決定します。誰のどんなところが評価されてグランプリが決定されるのか、ぜひ会場でご覧ください。

見学希望の方は、ガーディアン・ガーデンまでお電話にてご予約ください。9月1日より受け付けています。 TEL 03-5568-8818

これまでの公開審査会の様子は、

<http://www.recruit.co.jp/GG/> 「competition」ページをご参照ください。

『ひとつぼ展』は、ガーディアン・ガーデンでの個展開催を最終目標とした公募展です。ポートフォリオによる一次審査を通過した10名の出品者が、グランプリをかけて競います。各自3.3㎡(1.82m×1.82m)のスペースの中で構成した出品作品をもとに、展覧会会期中に出品者と審査員が直接対話し、グランプリを決定する公開二次審査会を実施します。グランプリ獲得者には1年間の制作期間を経た後に、個展開催が約束されます。

応募

グラフィックアート、写真それぞれ年2回開催

一次審査

ポートフォリオ審査により10名が入選

『ひとつぼ展』

一次審査入選者10名にグループ展開催

二次審査

公開二次審査会でグランプリ1名が決定

グランプリ受賞者個展

約1年後に個展開催

The Second Stage at GG

約5～6年後に入選者の中から年4名の個展開催

次回作品募集

第22回グラフィックアート『ひとつぼ展』03年12月1日(月)締切

第22回写真『ひとつぼ展』03年12月15日(月)締切

※詳しい募集要項についてはホームページ「ART PARADISE」をご参照ください。ガーディアン・ガーデンまでお問い合わせください。

お問い合わせ ガーディアン・ガーデン

〒104-0061 東京都中央区銀座7-3-5 リクルートGINZA7ビルB1

TEL 03-5568-8818 FAX 03-5568-0512

<http://www.recruit.co.jp/GG/>

ガーディアン・ガーデンとクリエイションギャラリーG8のホームページ「ART PARADISE」。『ひとつぼ展』の情報や、出品作家の作品などをご紹介しています。

Guardian Garden

PRODUCED BY RECRUIT



リクルートGINZA7ビルの地下1階です。洋菓子ウエスの横の階段を降りて下さい。

GRAPHIC ART

一坪展

1st



20030916-20031002

ポートフォリオ審査を通過した10名による

第21回グラフィックアート『ひとつぼ展』

川島沙紀子 Kawashima Sakico

1978年生まれ。多摩美術大学大学院在籍  
『春の瞳』

人々が持っている意識やイメージは簡単に操作されてしまう曖昧なものです。今ある判断基準では判断できないイメージを表すことで、違和感を感じてもらいたいと思っています。



長谷亮平 Hase Ryohei

1980年生まれ。多摩美術大学美術学部  
グラフィックデザイン学科4年

『6月のメランコリー』  
5月のメランコリーはいわゆる5月病の症状。しかし6月まで続くメランコリーは5月病とは違った私自身に根底から存在し続ける症状である。その曖昧な気持ちを表現しました。



高木佐和子 Takagi Sawako

1980年生まれ。東京造形大学研究生  
『Insectarium』

ひとの生活に最も身近な生物である昆虫。彼等は我々を魅了して止まない。独自の進化を遂げた彼等の多様な形態や鮮やかな色彩の美しさを表現した。



当房地恵子 Tohboh Chieko

1975年生まれ。九州産業大学芸術学部  
デザイン学科卒業。雑貨店スタッフ

『鳥の旅』  
鳥の目で描いているようだとされた事がありました。渡り鳥が旅の途中で見たような、深く遠く広がる風景を綴ります。観た人の呼吸がずうっと楽になるような表現をしたい。



山田ゆりか Yamada Yurika

1980年生まれ。東京工芸大学芸術学部デザイン  
学科卒業。アルバイト  
『dawn festival』

出会った人や場所、その空間の出口が幸福であればいい。空間や空気感を大切に作品作りをしています。ぼんやりと流れるようにみてもらえればと思います。



阿保雄太 Abo Yūta

1981年生まれ。多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科4年

『朝風』  
朝、一日が始まる時間に、海は凪いでいる。風が止み、時間まで止まってしまったような海に、ゆっくりとした流れを感じる。その感覚を、伝えたいと思った。



奥田直美 Okuda Naomi

1980年生まれ。愛知県立芸術大学デザイン工芸科卒業。アルバイト

『自己中心的絵日記』  
空の色がとても鮮やかで美しくったり、車窓から見た景色にころころを踊らせたり、感情だけが先走って筆を動かしたり。延々と続く私の日常を、素直につづった絵日記です。



牛島孝 Ushijima Ko

1980年生まれ。金沢美術工芸大学日本画専攻卒業。フリー

『02.12.16-5 02.12.23-2 03.06.01-2 02.11.15-7』  
『いま』を感じている心のふるえをそのまま表現したい。鑑賞者の無意識に訴えかけ、『いま』という状況につまずく石になりたい。



虞萍 Yu Ping

1972年生まれ。東京デザイン専門学校CGデザイン科卒業

『Ping』  
多様な手法で、偶然の出逢い「Ping」を表現してみました。作品の中の暖かく、愛嬌のあるキャラクターと出逢った人々が感じた心のやすらぎや、穏やかな気持ちが、更に沢山の人々に広がっていくことを願っています。



小谷美幸 Odani Miyuki

1980年生まれ。桑沢デザイン研究所卒業

『Candy for brain ~脳ミソのおやつ~』  
脳が養分として取り入れる要素は“糖”だけだそうです。私の作品はその糖（お砂糖）を使ったお菓子で出来ています。目で見て、脳が吸収し、感じる世界を今回写真で表現しました。